

令和6年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

教 育 原 理

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「教育基本法」の一部である。(A) ~ (C) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第九条 法律に定める学校の教員は、自己の (A) を深く自覚し、絶えず (B) に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、(C) の充実が図られなければならない。

(組み合わせ)

| | A | B | C |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 崇高な使命 | 理論の応用 | 福祉保障 |
| 2 | 性格の適正 | 研究と修養 | 養成と研修 |
| 3 | 崇高な使命 | 教育の実践 | 心身の健康 |
| 4 | 崇高な使命 | 研究と修養 | 養成と研修 |
| 5 | 性格の適性 | 理論の応用 | 福祉保障 |

問2 次の文は、「いじめ防止対策推進法」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 現場で客観的な判断を行うことの必要性から、当該行為の対象となった児童等が感じている心身の苦痛の有無は「いじめ」の定義には含まれていない。
- B この法律における「学校」の定義には幼稚園が含まれていない。
- C いじめを受けた児童等の保護者といじめを行った児童等の保護者との間で争いが起きることのないように、まずは教職員を中心にいじめを受けた児童等に対する支援及びいじめを行った児童等に対する指導を行い、保護者への報告は問題が解決した後に行う方が望ましいと書かれている。
- D 学校の設置者又はその設置する学校が、いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるときはこの法律における「重大事態」に該当する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問3 次の文は、「教育振興基本計画」(2023(令和5)年6月16日 閣議決定)における基本施策に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A フリースクールなどの民間施設やNPO等と積極的に連携し、相互に協力・補完するような取組を通じて、課題を抱えている児童生徒が誰一人取り残されないよう多様な支援を実施する。
- B 子供たちに関わるルール等の制定や見直しの過程に子供自身が関与することは難しいため、子供を代弁して、大人が取り組む。
- C 子供を育てる上で不安を感じたり、身近に相談相手がいない状況にある保護者を、乳幼児期から就学期以降にわたり切れ目なく支援するため、家庭教育支援チームの普及を図るとともに、訪問型など保護者に寄り添う家庭教育支援の推進を図る。
- D 男女の平等や相互の理解、男女が共同して社会に参画することの重要性、各人の生き方、能力、適性を考え、性別にとらわれず主体的に進路を選択することの重要性について指導を推進するとともに、子供たちの最も身近な存在である教職員が固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を払拭し男女共同参画を推進する意識を醸成する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問4 次の文は『幼稚園教育要領解説』の第1章「総説」第1節「幼稚園教育の基本」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っている。
- 2 環境を通して行う教育は、幼児の環境との主体的な関わりを大切にした教育であり、幼児の視点から見ると自由感あふれる教育である。
- 3 遊びは遊ぶこと自体が目的であり、人の役に立つ成果を生み出すことが目的ではないが、幼児の遊びには幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれている。
- 4 幼児期には遊びの中で諸能力が個別に発達していくのではなく、相互に関連し合い、総合的に発達していく。
- 5 幼児は自分の要求を満たしてくれる教師に対して信頼を寄せるため、幼児のあらゆる要求を否定せずに全て受け止めてこたえることが大切である。

問5 次の【I群】の子ども観に関する記述と、【II群】の人物を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

著作権の関係により公表できません。

【II群】

- ア カント(Kant, I.)
- イ ヴィゴツキー(Vygotsky, L.S.)
- ウ エリクソン(Erikson, E.H.)
- エ ルソー(Rousseau, J.-J.)

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | ウ | イ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア |
| 3 | ウ | エ | イ | ア |
| 4 | エ | ア | ウ | イ |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問6 次の文の著者として、正しいものを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 カイヨワ(Caillois, R.)
- 2 アリエス(Ariès, P.)
- 3 マルクス(Marx, K.)
- 4 アレント(Arendt, H.)
- 5 ホイジンガ(Huizinga, J.)

問7 次の【Ⅰ群】の記述と【Ⅱ群】の人物を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ
選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 生活綴方による教育を実践し、その記録『山びこ学校』を刊行した。
- B 『自由画教育』を出版し、従来の臨画教育を否定して自由な児童画を提唱した。
- C 児童文学誌『赤い鳥』を創刊し、芸術性豊かな童話・童謡の創作を提唱した。

【Ⅱ群】

- ア 山本鼎
- イ 鈴木三重吉
- ウ 沢柳政太郎
- エ 無着成恭

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ |
| 2 | ア | ウ | イ |
| 3 | イ | ウ | エ |
| 4 | ウ | ア | イ |
| 5 | エ | ア | イ |

問8 次の文の著者として、正しいものを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 松野クララ
- 2 森有礼
- 3 赤沢鍾美
- 4 羽仁もと子
- 5 小林宗作

問9 次のA～Dは、日本における教育に関連する出来事である。年代を古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「新エンゼルプラン」策定
- B 「少子化社会対策基本法」成立
- C 「こども基本法」成立
- D 「児童の権利に関する条約」批准

(組み合わせ)

- 1 A→B→C→D
- 2 B→D→A→C
- 3 C→A→B→D
- 4 C→A→D→B
- 5 D→A→B→C

問10 次の文は、「障害者の権利に関する条約」に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 締約国に障害のある児童が他の児童との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を完全に享有することを確保するための措置をとることを求めている。
- 2 締約国に障害のある児童が障害に基づいて無償で義務的な初等教育、中等教育から排除されないことを求めている。
- 3 教育についての障害者の権利を実現するために、締約国に個人に必要とされる合理的配慮の提供を求めている。
- 4 締約国は完全なインクルージョンを全ての場合に目標とする必要はなく、障害のある児童に対して効果的で個別化された支援措置がとられるなら特別支援学校等の資源も利用されるべきであると述べている。
- 5 締約国に手話又は点字について能力を有する教員（障害のある教員を含む。）を雇用するために適当な措置をとることを求めている。